

令和4年度後期分授業料免除、徴収猶予及び月割分納申請の注意事項

授業料免除及び徴収猶予（月割分納含む）は、下記Ⅰ、Ⅱに該当する者を対象に、経済状況及び学業成績を一律の基準で審査し、どちらも基準を満たしている者が選考の対象となります。経済状況は本人からの申請に基づき審査を行います。申請者ごとの不均衡が生じないように各種の公的な証明書が必要となります。

書類の不備や記載漏れ等がある場合には申請を受理しません。また、事実と反する記載があった場合には、免除となった後でもその決定を取り消すことがありますので注意してください。

なお、授業料の未納がある者は免除、徴収猶予及び月割分納の申請はできません。提出時に授業料の納入の確認をさせていただきます。

Ⅰ 免除の選考対象

- 1 経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- 2 本人の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が6ヶ月以内（新入生は入学前1年以内）に死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け授業料の納入が困難な者

*東日本大震災、北海道胆振東部地震及び令和2年7月豪雨で被災した方については別途対応しますので、該当する場合は事前に担当まで申し出てください。

Ⅱ 徴収猶予の選考対象

上記Ⅰの1又は2の理由により、授業料納入期限（令和4年11月28日）までに納入が困難な者

Ⅲ 月割分納の選考対象

やむを得ない事情があり、授業料納入期限（令和4年11月28日）までに納入が困難な者

Ⅳ 免除の額、徴収猶予の期限及び月割分納の回数

- 1 免除の額：令和4年度後期分授業料の全額又は半額
- 2 徴収猶予の期限：令和5年2月28日（火）まで
- 3 月割分納の回数：12月（133,950円）、1月（44,650円）、2月（89,300円）の計3回

Ⅴ 申請期限

令和4年10月3日（月）午後5時まで（期限を過ぎた場合はいかなる理由があっても受理しません。）

Ⅵ 申請書類等

裏面記載の書類等を一括して、郵送（期限必着）又は学生支援課学生支援係（②番窓口）へ提出してください。

なお、提出の際には記載内容について説明を求めることがありますので、内容を十分把握しておいてください。

Ⅶ 選考結果の通知

選考結果は令和4年12月下旬頃に学内掲示及び郵送で通知します。

*基準を満たしていても、免除実施可能額があるため「不許可」となる場合もありますので、予めご了承ください。

*選考結果が「不許可」又は「半額免除の許可」となった場合は、徴収猶予又は月割分納を申請することができます。この場合の申請方法については結果通知でお知らせします。

*全額免除となった者以外の者の授業料の支払方法については、結果通知でお知らせします。

Ⅷ 諸注意

*免除申請者は、決定までの間は授業料の納入が猶予されますので、授業料を納入しないでください。誤って納入した場合であっても当該授業料の返還はできません。また、免除申請は無効となります。

*徴収猶予及び月割分納許可者が授業料を納入（郵便振込）する際の振込手数料は本人負担となります。

【個人情報の保護について】申請時に提出していただいた情報は、授業料免除者の選考に利用するものです。その他の目的には利用・提供いたしません。

【問い合わせ先】

申請書類に関して不明な点又は家庭の特殊事情がある場合には、申請前にあらかじめ下記まで問い合わせてください。また、書類の提出後であっても家庭状況に変化があった場合は早急に連絡をしてください。

北見工業大学 学生支援課 学生支援係

〒090-8507 北見市公園町165番地 TEL : 0157-26-9183 FAX : 0157-26-9185

申請書類等

1 申請者全員が必要とする書類（①～③全て）

① 授業料免除等申請書 （本学所定用紙）	<ul style="list-style-type: none"> ・「申請書の書き方」を参考にもれなく記入してください。 ・現在来日している家族についてもれなく記入してください（来日していない者については記入不要です。）。
② 外国人留学生入学料・授業料免除申請添付書類（本学所定用紙）	
③ 結果通知用封筒	長3型の封筒に本人の住所・氏名を記入すること。（返信用切手は不要）

2 過去1年間に以下に該当する場合に提出を必要とする書類（すべて写しで可）

① 学資負担者が死亡の場合	死亡日が確認できるもの
② 風水害等	被災証明書，被害額を証明するもの（原則として1年以内の被災）

3 本学大学院博士後期課程へ進学を予定する場合に提出する書類 （免除書類と併せて提出して下さい）

① 北見工業大学大学院博士前期課程学生授業料免除申立書（博士後期課程進学予定者用）	本学大学院博士後期課程へ進学を予定する者で，学業成績が良好である者は授業料の全額を免除することができます。ただし，進学を取りやめた場合は，遡って免除が取消となり，授業料を納入する必要があります。
---	---

授業料免除、徴収猶予の基準について

1. 収入基準

世帯全体の『所得金額』から『特別控除額』を引いた金額が下記の『収入基準額』以下であること（『所得金額』－『特別控除額』≤『収入基準額』）。

『所得金額』は下記の『所得金額』の算定方法により計算した金額となります。

『特別控除額』は申請者以外の就学者や障害者及び長期療養者等がいる場合、また、申請者本人の通学形態などにより異なります。詳細については学務課学生支援室学生支援担当までお問い合わせください。

※『所得金額』の算定方法

給与収入（給与収入の種類については「申請書の書き方」参照）

収入金額104万円以下のもの … 所得金額＝0円

収入金額104万円を超え200万までのもの … 所得金額＝収入金額×0.8－83万円

収入金額200万円を超え653万までのもの … 所得金額＝収入金額×0.7－62万円

収入金額653万円を超えるもの … 所得金額＝収入金額－258万円

給与収入以外の所得

収入金額から必要経費を差し引いた金額

【半額免除に係る収入基準額表】

区 分	学 部	博士前期課程	博士後期課程
世帯人員	1人	167万円	182万円
	2人	266万円	290万円
	3人	306万円	334万円
	4人	334万円	364万円
	5人	360万円	393万円
	6人	378万円	412万円
	7人	395万円	432万円

(参考)半額免除となる給与収入上限

例 父(給与所得者), 母(専業主婦), 本人(学部, 自宅外通学, 奨学金なし)と兄弟の4人家族の場合

区 分	学 部	博士前期課程	博士後期課程
兄弟	国立大(自宅外)	766万円	796万円
	私立大(自宅外)	808万円	838万円
	公立高(自宅)	692万円	722万円
	私立高(自宅)	705万円	735万円
	中学校	680万円	710万円
	小学校	672万円	702万円

2. 学業成績基準

学部1年次	前期の修得単位数が 16単位以上 、かつ、既修得科目のうち、「秀」、「優」及び「良」が全体の60%以上。
学部2年次	前年度までの修得単位数が 39単位以上 、かつ、既修得科目のうち、「秀」、「優」及び「良」が全体の60%以上。
学部3年次	前年度までの修得単位数が 65単位以上 、かつ、既修得科目のうち、「秀」、「優」及び「良」が全体の60%以上。(編入学生は除く)
学部4年次	前年度までの修得単位数が 92単位以上 、かつ、既修得科目のうち、「秀」、「優」及び「良」が全体の60%以上。 卒業研究に着手していること 。 なお、過年度生は選考の対象となりません。(ただし、特別な事情がある場合は担当に申し出てください。)
博士前期1年次	学部における既修得科目のうち、「秀」、「優」及び「良」が全体の60%以上。(社会人学生及び外国人留学生は除く)
博士前期2年次	前年度までの修得単位数が 15単位以上 、かつ、既修得科目のうち、「秀」、「優」及び「良」が全体の60%以上。
博士後期1年次	博士前期課程における既修得科目のうち、「秀」、「優」及び「良」が全体の60%以上。(社会人学生及び外国人留学生は除く)
博士後期2年次以上	前年度までの修得単位数が2年次は 12単位以上 、3年次は 14単位以上 、かつ、既修得科目のうち、「秀」、「優」及び「良」が全体の60%以上。(社会人学生及び長期履修学生を除く)

なお、母子家庭・生活保護世帯等については特例があり、学部1年次においては学業成績平均値、学部2年次以上は既修得科目の「秀」、「優」及び「良」の割合がこの基準以下でも対象になる場合があります。

授業料（※免除・徴収猶予・月割分納）申請書

申請者	フリガナ 氏名			※学科 プログラム 専攻	年	入学年度	年度		
	アルファベット 表記					学籍番号			
	通学区分	※自宅 ・ 自宅外	前年度奨学金 名称： 年額 円	名称： 年額 円					
（同一生計の者以外 来日中の家族状況）	就学者以外	続柄	氏名	年齢	現在の職業（全て記入）	在職期間（全て記入） 年 月	勤務先（全て記入）	賞与 有・無	
	就学者 （本人除く）	続柄	氏名	年齢	学校名	学年	通学区分	前年度の授業料免除状況 （国立学校就学者のみ）	
					立		※自宅・自宅外	前期 後期 ※全半 ※全半 免免 免免 ※全半 ※全半 免免 免免	
					立		※自宅・自宅外	※全半 ※全半 免免 免免	
本人及び家族（就学者を除く） の収入状況			本人	父	母			持家の有無	
	給与収入	給与・賃金・賞与・役員報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	有・無
		年金・恩給							
		失業給付金・生活保護ほか各種手当							
		その他（ ）							
		小計							
			給与所得						
	給与収入以外の所得	商・工・農・林・水産業							備考
		家賃・地代・利子・配当							
		援助・養育費							
退職金・保険金・資産譲渡等の臨時的な所得									
その他（ ）									
		小計							
		所得金額計							
判定（大学記入欄）	特別控除 (千円)			認定 (千円)			免除結果		
	A	(1) 母子・父子家庭	a 所得金額合計			□ 全額免除			
		(2) 就学者	b 特別控除額			□ 半額免除			
		() () (高・高専) () (専修)	c 総所得金額 (a - b)			□ 免除不許可			
		(3) 障害者・長期療養者	d 収入基準額 (人全額)			□ 免除不可			
		(4) 主たる家計支持者別居	e 家計評価額 (c - d)			徴収猶予等結果			
		(5) 災害	f 収入基準額 (人半額)						
	(6) 父母以外の所得	g 家計評価額 (c - f)			□ 徴収猶予許可				
B	自宅・自宅外	280・720		家計評価額該当事項		□ 徴収猶予不許可			
計				全額免除・半額免除・免除不可		□ 月割分納許可 □ 月割分納不許可			

申請理由	申請に至った家庭事情及びその他特に説明を要することを具体的に記入すること。

特別控除関係	障害者	氏名 () 手帳番号 () (級) 障害年金受給 ※ (有・無)
		氏名 () 手帳番号 () (級) 障害年金受給 ※ (有・無)
	長期療養者	氏名 () 病名 () ※ (入院・通院・自宅療養) 期間 (年 月 日から現在まで) 1年間の療養費 (千円)
		氏名 () 病名 () ※ (入院・通院・自宅療養) 期間 (年 月 日から現在まで) 1年間の療養費 (千円)
	主たる家計支持者別居	氏名 () 1年間の住居・水道光熱費 (千円)
災害関係	被災年月日 (年 月 日) 被災額 (千円) 内容 ()	

の1 平均 月あた り 生活 費	収 入	家庭から	円	支 出	修学費	円
		アルバイト ()	円		家賃	円
		奨学金 (名称:)	円		食費	円
		(名称:)	円		水道光熱費・通信費	円
		その他から ()	円		その他	円
		計	円		計	円

学業	① 前年度までの修得単位数 (単位) ② [学部4年次のみ] 卒業研究 (※着手・未着) * 新入生は記入不要。ただし、学部1年次が後期に申請する場合は前期の修得単位を記入
----	--

以上のとおり

令和 年度後期分授業料を [※免除・徴収猶予・月割分納] して下さるよう連帯保証人連署のうえ、必要書類を添えて申請します。
また、免除(徴収猶予・月割分納)結果が決定するまでの間、授業料の納付を猶予して下さるよう併せてお願いします。

令和 年 月 日

北見工業大学長 殿

申請者 [自署]	氏名	
	現住所	〒
	携帯電話等	()

枠内に記入し、※印のところは該当するものを○で囲むこと。

<個人情報の利用目的> ご記入いただいた情報は、授業料免除の選考に利用するものです。その他の目的には利用提供いたしません。

外国人留学生入学科・授業料免除申請添付書類

国籍 _____

学 科
プログラム
専 攻 第 学年

氏名 (自署) _____

1. 本人及び配偶者の収入

(1) 本国からの援助、仕送り

	援助者の氏名	関 係	援 助 額 (年 額)
本人 { 有・無 }			円
			円
配偶者 { 有・無 }			円
			円

(2) 奨 学 金

	団 体 名	支 給 期 間	支 給 額 (年 額)
本 人 前年度 { 有・無 } 今年度 { 有・無 }		年 月 日～ 年 月 日	円
		年 月 日～ 年 月 日	円
		年 月 日～ 年 月 日	円
配偶者 前年度 { 有・無 } 今年度 { 有・無 }		年 月 日～ 年 月 日	円
		年 月 日～ 年 月 日	円
		年 月 日～ 年 月 日	円

◎一括支給される奨学金も含まれます。

- 例) *北見工業大学学術振興・国際交流基金私費外国人留学生受入援助奨学金
*北見市外国人留学生修学支援金

(3) アルバイト、その他の収入 本人 { 有・無 }、配偶者 { 有・無 }

アルバイト収入がある場合は、源泉徴収票（雇用主発行）のコピーを添付してください。
源泉徴収票がない場合は、裏面の給与支給証明書に雇用主の証明を受けて提出してください（2か所以上の証明が必要な場合はコピーして使用してください）。
また、その他の収入がある場合は、金額記載のその援助者（団体）の申立書又は、証明書を添付すること。

2. 個別担任・指導教員等の所見（家計、就学状況から免除が必要と認められる所見）

個 別 担 任

指 導 教 員 等

職 名

氏 名 (自署)

給与支払（見込）証明書

氏 名 _____

住 所 _____

1. 就職年月日

_____ 年 _____ 月 _____ 日

2. 職 種 ※該当するものに○印

正社員 ・ その他（ _____ ）

3. 給 与 ※1年間の支給額（交通費を除く税込み額）について記入してください。

※勤務期間が1年未満の場合は、満たない分について見込額を記入してください。

支払年月	支払（見込）額	支払年月	支払（見込）額
年 月	円	年 月	円
年 月	円	年 月	円
年 月	円	年 月	円
年 月	円	年 月	円
年 月	円	年 月	円
年 月	円	年 月	円
合 計			円

4. 賞 与 ※該当するものに○印

有（下記に金額を記入） ・ 無

賞 与（春）	円
賞 与（夏）	円
賞 与（冬）	円

上記のとおり支払った（見込みである）ことを証明します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

所 在 地 _____

給与支払者

（会社名）

印

北見工業大学大学院博士前期課程学生授業料免除申立書
(博士後期課程進学予定者用)

北見工業大学長 殿

私は、北見工業大学大学院博士後期課程に進学を予定していることを申し立てます。

なお、進学しないことが確定した場合は、申請時に遡り免除を取り消されても異議を申し立てません。

令和 年 月 日

所 属 _____

学籍番号 _____

氏 名 _____ 印 _____

指導教員推薦書

<p>指導教員 職・氏名 _____</p>	<p>印 _____</p>
------------------------	----------------

申請書の書き方

1. 申請時（前期分は4月1日、後期分は10月1日）現在で事実ありのままに、わかりやすく記入してください。記入すべきことが書かれていないとき、判読しにくいなど申請書に不備があるときは免除選考の対象から除外します。また、内容が故意に事実と相違して記入してある場合は、免除選考決定後でも決定を取り消します。
2. 申請者は 枠内に記入し、※印のところは該当するものを○で囲んでください。
3. 記入の際は、ペン又はボールペンを使用してください。訂正時には、訂正箇所を二重線で削除し（訂正印不要）、余白に正しい事項を記入してください。修正液は使わないでください。申請書裏面の連帯保証人欄以外はすべて学生本人が記入してください。
4. 記入欄が足りない場合は、適宜、欄を分けて記入してください。

【申請者欄の記入】

1. 「前年度奨学金」欄について、学部一年次は記入不要です。
2. 「学籍番号」欄について、新生で学籍番号が未定の場合は記入不要です。

【家族状況欄の記入】

「家族」は同居・別居を問わず申請者と生計を一にする者全員を記入してください。生計を一にしない（独立生計の）兄弟姉妹や祖父母等の記入は不要です。

○就学者を除く家族

- ・「現在の職業」は、会社員、公務員、自営業、農業、教員、アルバイト・パート等、職業名を記入してください。

○就学者

- ・「就学者」とは次に在学する者です。
小・中・高校・高専
大学（大学院・専攻科・別科を含む。放送大学については、全科履修生・特修生に限る。）
盲・ろう・養護学校
専修学校（高等課程・専門課程）
（注）上記以外の専門学校一般課程及び各種学校等（予備校・職業訓練校・その他）に在学する人は、「就学者を除く家族」に記入してください。

- ・「前年度の授業料免除状況」欄は、国立学校（大学、高等専門学校）就学者について記入してください。

表面

記入例（免除申請の場合）

授業料（※免除）・徴収猶予・月割分納）申請書									
一般学生用									
フリガナ	氏名	北見 太郎	地球環境工	学年	3年	入学年度	令和2年度	学籍番号	2012100000
申請者	通学区分	①日本学生支援機構奨学金（給付・一種・二種） 該当する奨学金すべてに○印 （給付奨学金は前年度に限らず現在受給中であれば○印） 年額 612,000円		②左記以外の奨学金 （名称： ） （※貸与・給付）年額 円					
家族状況（同一生計）	就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	現在の職業（全て記入）	在職期間（全て記入）	勤務先（全て記入）	賞与	
		父						有・無	
		母	北見 花子	47	自営業 パート	10年2ヶ月 3 11	〇〇〇美容室 〇〇〇スーパー	有（無）	
		祖父	北見 工一郎	75	農業	40 6	自宅（年金受給者）	有（無）	
別居者に主たる家計支持者に○印	就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	学校名	学年	通学区分	前年度の授業料免除状況 （国立学校就学者のみ）	
		兄	北見 一郎	22	国立 〇〇大学		※自宅・自宅外	※全半無 ※全半無 ※全半無	※全半無 ※全半無 ※全半無
本人及び家族（就学者を除く）の収入状況	給与収入	本人	父	母	祖父	祖母	持家の有無		
		給与・賞金・賞与・役員報酬	120		1000			有・無	
		年金・恩給				639	788		
		失業給付金・生活保護ほか各種手当 その他（ ）			493				
	小計	120		1493	639	788			
	給与収入以外の所得	商・工・農・林・水産業		120	162				備考
家賃・地代・利子・配当									
援助・養育費			360					360は養育費	
退職金・保険金・資産譲渡等の臨時的な所得 その他（ ）									
小計		480	162						
所得金額計									
判定（大学記入欄）	特別控除（千円）		認定（千円）		免除結果				
	(1) 母子・父子家庭		a 所得金額合計		<input type="checkbox"/> 全額免除				
	(2) 就学者		b 特別控除額		<input type="checkbox"/> 半額免除				
	() () () () () () 小 中 高・高専 大 専修		c 総所得金額（a - b）		<input type="checkbox"/> 免除不許可				
	(3) 障害者・長期療養者		d 収入基準額（人全額）		<input type="checkbox"/> 免除不可				
	(4) 主たる家計支持者別居		e 家計評価額（c - d）		（家計・学業）				
	(5) 災害		f 収入基準額（人半額）		徴収猶予等結果				
(6) 父母以外の所得		g 家計評価額（c - f）		<input type="checkbox"/> 徴収猶予許可					
B 自宅・自宅外		280・720		家計評価額該当事項					
計				全額免除・半額免除・免除不可 <input type="checkbox"/> 月割分納許可 <input type="checkbox"/> 月割分納不許可					

……「収入状況」欄の記入上の注意……

1. 令和3年1月～令和3年12月までの収入金額及び所得金額をすべて記入してください。（千円未満切り捨て）
2. 同一人で2種以上の所得があるときは、区分して記入してください。
3. 令和3年1月以降に就職・転職（開業等を含む）、又は雇用形態が変更（正規→非正規等）した場合は、上記1によらず、申請時現在の月収、賞与などを考慮のうえ、年間所得金額に見合った額を推算のうえ記入してください。

給与収入

1. 給与収入は「源泉徴収票」の支払金額を記入してください。
2. 年金については公的年金の源泉徴収票・年金振込通知書等の支払金額（介護保険料、後期高齢者医療制度の保険料額等を差引する前の金額）を記入してください。
3. 同一人で2種以上の給与収入があるものは収入金額を合計したあと、千円未満を切り捨てて記入してください。

給与収入以外の所得

1. 収入（売上）金額から必要経費を控除した所得金額を記入してください（マイナスとなる場合はゼロ「0」と記入）。なお、青色申告を行っている場合は、青色申告特別控除前の所得金額を記入してください。
2. 商・工業所得は、個人事業主の場合に記入してください。
3. 退職金、保険金、資産譲渡等の臨時的な所得は、申請前6ヶ月間（入学金免除に関しては1年間）のものを記入してください。
[前期]前年10月～今年3月、[後期]今年4月～9月

裏面

記入例（免除申請の場合）

申請に至った家庭事情及びその他特に説明を要することを具体的に記入すること。

申請理由

〈主たる家計支持者無職・失職の場合〉その年月（ 年 月 ） 生活費の出所（ ）
※就業見込（有・無）

特別控除関係	障害者	氏名（北見 雪子）	手帳番号（0123456）	（2級）	障害年金受給	*（有・無）
		氏名（ ）	手帳番号（ ）	（ ）級	障害年金受給	*（有・無）
	長期療養者	氏名（ ）	病名（ ）	*（入院・通院・自宅療養）		
		期間（ 年 月 日から現在まで）	1年間の療養費（ 千円）			
	氏名（ ）	病名（ ）	*（入院・通院・自宅療養）			
	期間（ 年 月 日から現在まで）	1年間の療養費（ 千円）				
	主たる家計支持者別居	氏名（ ） 1年間の住居・水道光熱費（ 千円）				
	災害関係	被災年月日（ 年 月 日） 被災額（ 千円） 内容（ ）				

の1 平 か 月 生 活 費 入 入	家庭から	40,000円	支 出	修学費	10,000円
	アルバイト（ ）	10,000円		家賃	40,000円
	奨学金			食費	20,000円
	日本学生支援機構	50,000円		水道光熱費・通信費	20,000円
	その他（名称： ）	円		その他	10,000円
	その他から（ ）	円			
	計	100,000円		計	100,000円

① 前年度までの修得単位数（ 65 単位） ② [学部4年次のみ]卒業研究（*着手・未着）
*新入生は記入不要。ただし、学部1年次が後期に申請する場合は前期の修得単位を記入

以上のとおり

令和 4 年度前期分授業料を [*免除 ・ 徴収猶予 ・ 月割分納] して下さるよう連帯保証人連署のうえ、必要書類を添えて申請します。
また、免除（徴収猶予・月割分納）結果が決定するまでの間、授業料の納入を猶予して下さるよう併せてお願いします。

令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

北見工業大学長 殿

申 請 者 [自 署]	氏名	北見 太郎
	現住所	〒090-0000 北見市〇〇町〇〇-〇〇
	携帯電話等	090 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇
連 帯 保 証 人 (父 母 等) [自 署]	氏名	北見 花子
	現住所	〒123-0000 〇〇市〇〇町〇〇番地
	電話番号	090 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇

申請に至った家庭事情、経緯について具体的に記入してください。（経済的な収入が無い、又はごくわずかな場合の生活の方法、就学者以外の兄弟等が無職の場合その理由等）申請書の他の欄で記載できなかったことを記入してください。

【1か月あたりの平均生活費】
※学費(入学科・授業料)は除く
ア. 最近の平均(新入生は見込)で記入してください。
イ. 収入のうち一部を授業料等のため積立てているときは、支出欄の「修学費」に記入してください。
ウ. 自宅通学者の食費・住居費は記入しないでください。ただし、昼食はその月額をその他に記入してください。自宅外通学者で食費、住居費を一括して下宿代として納めている場合は()書きで家賃に記入してください。
エ. 収入金額の合計と支出金額の合計は同額にしてください。

申請日を記入

連帯保証人が記入
※連帯保証人欄以外は申請者本人が記入

枠内に記入し、※印のところは該当するものを○で囲むこと。
〈個人情報利用目的〉ご記入いただいた情報は、授業料免除の選考に利用するものです。その他の目的には利用提供いたしません

封筒[長型3号]

*返信用封筒(切手不要)には必ず連帯保証人(父母等)の住所・氏名を記入して提出すること。
郵便番号も忘れずに記入してください。
(留学生については本人の住所・氏名を記入してください。)

123〇〇〇〇

連帯保証人住所氏名
〇〇市〇〇町〇〇番地

北見花子殿

2012100000
北見太郎

左余白に学籍番号・氏名を記入して下さい。

私費外国人留学生及び社会人学生は、申請書の様式が若干異なっていますので、記入の際、不明な点がある場合は、担当へ問い合わせてください。

[担当] 北見工業大学学務課学生支援室
学生支援担当
〒090-8507 北見市公園町165番地
Tel:0157-26-9183 Fax:0157-26-9185